

# 交通事故概況等について

道環境生活部くらし安全推進課  
平成22年9月14日

## ◎ 交通死亡事故発生状況

### 1 (総合)振興局別交通死亡事故発生状況

#### (1) 平成22年中の発生状況(9月13日現在)

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	15	34	9	8	1	8	0	9	2	3	17	17	8	1	132
前年比	-4	+4	+1	-5	-8	-2	-4	+2	-2	±0	+11	+1	-1	-2	-9

#### (2) 平成22年9月中の発生状況(9/1~9/13)

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数						1						1	3		5
前年比	-2	-6		-3		±0					-2	±0	+2		-11

### 2 月別死者数(9月13日現在)

年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	8月末	9月	10月	11月	12月	計十
平成22年	10	16	18	10	12	15	21	25	127	(5)				132
平成21年	12	7	11	16	15	14	28	22	125	22	27	22	22	218
平成20年	11	11	10	14	15	27	21	24	133	22	21	25	27	228

### 3 主要都道府県の交通事故死者数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成22年 (9/13) 現在	東京 145 (+3)	愛知 137 (-14)	北海道 132 (-9)	茨城 130 (-10)	埼玉 128 (-10)	兵庫 124 (+15)	大阪 123 (-17)	神奈川 121 (+9)	千葉 120 (-2)	福岡 111 (-12)

### 4 過去5か年の秋の全国交通安全運動期間中(9/21~9/30)の交通事故死者数

死者数/年	17年	18年	19年	20年	21年	合計	平均
死者数	7	8	7	10	1	33	6.6

(担当:交通安全対策グループ 主幹 橋本 二三夫 Tel. 011-204-5219)

平成22年

# 秋の全国交通安全運動

9月21日(火)～9月30日(木) 北海道実施要綱



## 運動の 重点

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用
- ④ 飲酒運転の根絶

全道統一行動日 / 9月21日(火) セーフティコール

交通事故死ゼロを目指す日 / 9月30日(木)

主催

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、(社)北海道交通安全推進委員会、(財)北海道交通安全協会、(社)北海道安全運転管理者協会

居眠り運転防止 ～ 2時間毎に休憩しよう。

年間スローガン

# ストップ・ザ・交通事故死



## 運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

## 運動の進め方

道、道警、市町村、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進する。

## 通年運動

### 5大キャンペーン

- 高齢者事故防止・夜光反射材普及運動
- 交差点事故・自転車事故防止運動
- スピードダウン運動
- シートベルト着用向上・デイ・ライト運動
- 飲酒運転根絶運動

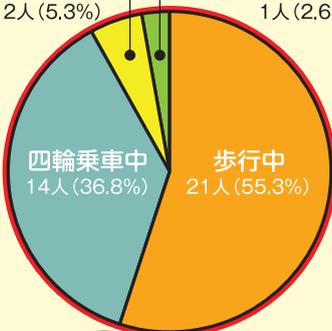


## 運動の重点 ①

### 高齢者の交通事故防止

■ 全死者数(81人)のうち高齢者の死者(38人)  
※平成22年上半年(1~6月)

二輪乗車中 2人(5.3%)      自転車乗用中 1人(2.6%)



#### 運転者は

高齢者への思いやりをもった安全な運転をしよう。特に右からの横断に注意しよう。

#### 高齢者は

参加・体験型の講習会などに積極的に参加し、自分の身体機能の変化を認識するとともに交通安全意識を高め、安全な行動を実践しよう。

#### 家庭では

夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装と夜光反射材を着用しよう。

#### 学校では

高齢者の安全な横断や通行等を手助けするよう指導しよう。

#### 地域では

高齢者への交差点における誘導などの声かけを心がけ、地域ぐるみで高齢者を交通事故から守ろう。